

全国手話通訳問題研究会

山口支部だより

May. 2005 / No. 35

E-mail: yamatuuken@yahoo.co.jp

URL: <http://homepage3.nifty.com/yamatuukenn/>



contents

- ◆ 後援会活動 P.2
- ◆ 報告 中国ブロック P.3
- ◆ 報告 代議員会 P.4
- ◆ 0から学ぶ P.7
- ◆ 投稿 守秘義務 P.8
- ◆ 山口市災害対策 P.9
- ◆ みんなで話そうよ P.10
- ◆ 支部運営委員会報告 P.11

改めし替える

後援会の役割を!

4月9日(日)に山口県聴覚障害者福祉協会後援会の定期総会が開催されました。午後から竹迫所長から「社会福祉法人「山口県聴覚障害者福祉協会」の現状と課題」と題して分かり易い講演をいただきました。

事業報告では、後援会会員の拡大・センター祭りの開催・法人理事長と関係団体長との懇談会の開催・後援会ニュースの発行・行事への参加等の報告がありました。

会員拡大について、17年度会員709名、会費907,014円で、16年度の734,712円に対して大幅な伸びで17年度の役員の奮闘がわかります。昨年度の繰越金の一部と合わせて100万円(テント・パンフレットスタンド・ホワイトボードなどを含む)を寄付した旨の報告がありました。この会の目的は福祉協会への財政援助で、センター祭りで催しをする中での会員拡大活動、山口ちようちん祭り、「子供ジャンボリ

ー」等での資金集めそして各地へのPR等、後援会役員の苦労も大きかったと思います。そして何よりも皆様の協力がセンター運営に大きく貢献できていると言えます。センターが建設されたのが平成11年10月ですが、建設されるまでを振り返ってみますと、様々な思ひ出がよみがえってきます。

国は平成2年に情報提供施設の建設を法制化しました。山口県でも県ろうあ連盟を中心に建設に向けての活動が始まりました。

しかし、その頃は何も分からない手探りの状態での活動でした。平成6年に県ろう連、県手連、全通研山口支部で「山口県聴覚障害者情報提供施設の建設を進める会」を発足させ施設が建設されている先進地、京都、滋賀、宮崎、等へ視察に行くなど具体的な活動へと入りました。その後、セルブ南風の佐藤氏を含め8団体での建設へ向けての活動が始まり平成9年には、法人格を取得するためと

建設後の運営基金集めや施設のハード・ソフト面について等、会議の連続で猛烈な議論を交わしたことも度々で、意見の食い違いから進める会から離れた方もおりました。そして各団体が建設に向けての臨時総会を開催するなどして意欲を燃やした結果、基金集めも何とか方向が見えてきて、平成10年に設立準備委員会が発足し、11年の建設にこぎつけることができました。

私たちは、今後もこの立派な施設を守り通すためには、歴史を振り返りながら、常に原点に戻り各団体の力を結集しなければなりません。山口支部も皆さん一緒に力を合わせてセンターの発展のためがんばりましょう。

最後に、センター建設に意欲的に取り組んでいた皆さん、常に冷静に皆をリードしてくださった、今は亡き、前理事長入谷仙介様と前理事佐藤良人様のご冥福を心からお祈り致します。

(支部長 藤村 浩二)